

宮崎公立大学
Miyazaki Municipal University



MMU ニュース・レター

第22号・夏

卒業式を終えて記念撮影をする第9期生たち。



自分の将来を 真剣に

学長 浜野 崇好



満開の桜の花に迎えられた平成17年度の新入生219名の皆さんに、改めて心からの歓迎の言葉を申し上げます。大学は授業時間が90分と長く、科目選択の幅も広がります。また、本学に入学して初めて家族と離れ、一人で生活を始めた人もあるでしょう。いろいろと戸惑いもあるかと思いますが、これからの4年間ほど、自由な時間があり、しかも元気いっぱい過ごせるというのは、人生の中でそう多くないと思います。この貴重な時間をどう使うかが、卒業後の人生を大きく左右すると言っても言い過ぎではないでしょう。

そのためにはまず、自分が何をやりたいのか、自己分析をしなければなりません。人生の目的を決めることは、なかなか難しいものですが、参考までに、先輩の卒業生たちは、どういう分野を選んだのかを紹介しましょう。

昨年までの卒業生のうち1,034名について、就職先を集計しますと、証券・保険も含めた金融関係と、卸・小売業がそれぞれ100名程度、中学高校の英語教員が約80名、公務員（嘱託を含む）70名、諸団体職員が50名で、このほかに、航空関係その他のサービス業や、病院事務、情報・通信、マスコミ、メーカーなどに広がっています。この統計は就職内定時点のもので、現状では、少し変わっているかと思います。

日本では、依然として、大学新卒者が一番就職しやすいという雇用慣行が続いています。幸い本学の就職率も好調です。4年間は長いように見えても、過ぎれば短いものです。早めに自分の将来について、真剣に考えることが大事です。

リベラル・アーツ 大学で学ぶ

学部長 中別府 温和



宮崎公立大学は、日本でも数少ないリベラル・アーツ大学です。つまり世界のいろいろな技術や知識や思考のすべてに共通する基礎を専門的に学ぶ大学です。医学や法学にたとえると、あらゆる患者の診療の基礎となる解剖学や免疫学や衛生学を、あるいは法の応用や解釈の基礎となる法哲学や法史学などを総合的かつ専門的に学ぶ大学です。

宮崎公立大学では、それを一時的で部分的な課程で学ぶのではなく、1年から4年まで大学全体で学びます。

英語、情報・基礎科学、比較文化、コミュニケーション、国際関係の5コースを中心に150もの科目が、地球上のさまざまな技術や知識や思考に共通する基礎を総合的かつ専門的に修得するために配置されています。ここで学生の一人ひとりが、富士山の裾野のように広い基礎を築いて、将来のより専門的な学びを確かなものにするのです。

また、どのような専門的な技術や知識や思考をそなえた人も、宮崎公立大学に来て、いつでもどこからでも自分で学ぶことができます。私たちの大学は、農業や漁業を営む人も会社に勤める人も技術者をも、ここでもう一度学びたい、という気持ちにさせるのです。大学で学ぶことが根本的に持つ意味は何であるかについて、他の大学とは異なる役割と使命を担っているからです。

そうした学びを、単なる口先だけのかけ声に終わらせないためには、お互いの言葉と心と両手がふれ合う学びの場が不可欠です。宮崎公立大学が少人数で学びつづけることを最も大切にする理由は、まさにここに 있습니다。

自分の大学のすばらしさに誇りと自信をもち、それを誰にでも分りやすく伝えつづ学ぶことを心がけましょう。

●宮崎公立大学MMUニュース・レター 第22号——[目次] 平成17年(2005)年・夏

自分の将来を真剣に……………学長 浜野 崇好 2
リベラル・アーツ大学で学ぶ…学部長 中別府 温和 2
[就職]第9回卒業生の就職率は96.0%…………… 3
[演習Ⅲ・Ⅳ公開]私たちのゼミ紹介します⑩……………4～5
田中薫ゼミ[出版文化論演習]/野中ゼミ[ジャーナリズム論演習]/広瀬ゼミ[国際法演習]/田宮ゼミ[中国文化論演習]/四方ゼミ[メディアとジェンダー演習]/森部ゼミ[インターネット演習]

[卒業式]
第9期生189名に卒業証書・学位記を授与…………… 6～7
[留学報告]
韓国と蔚山大学校の思い出……………有馬 晋作 8
蘇州の文化も学んでほしい……………永松 敦 8
幸せな気持ちになれる国……………谷口 正春 9
皆、心から親切に……………木切倉 徳子 9
事務局だより…………… 10～11
教職員人事/上半期行事予定/学生表彰/図書館から/
保健室から/学生相談室から/財団助成一覧/
[入学式]桜舞う晴れの日に、第13期生219名が入学…12

早くからの取り組みが効果を 第9回卒業生の就職率は96.0%

景気の回復傾向を受け、企業の採用計画においても採用意欲が増し、雇用環境が幾分改善してきました。

しかしながら、企業の人物重視の厳選採用の姿勢は変わらず、雇用意欲が増しても結果として雇用に結びつかず、また、就職活動の早期化・長期化が年ごとに進み、学生にとっては引き続き厳しい雇用状況にあります。

本学では、こうした状況に対応し、学生の就職活動をきめ細かに支援するため、全教員を就職対策委員として就職支援体制の強化に取り組んでいます。

第9回卒業生は、本学で実施した就職ガイダンスや自己分析、面接試験対策などの就職活動支援事業に早くから積極的に参加し、また筆記試験対策や企業研究、企業訪問など精力的に活動してきました。

その結果、4月以降早い段階から内定獲得者がみられ、その後も、例年より2ヶ月程早いペースで内定者が増え、最終的に昨年度を大幅に上回る96.0%という高い就職率を達成することができました。

《目的意識を持って充実した学生生活を送ろう》

4年間の大学生活は、人生の中で最も重要な期間です。学業はもちろん、サークル活動やボランティア活動に積極就職企業一覧

宮 崎 県 内	ジュエリー美貴 植松石油商事 セレモニー宮崎 TBC アルファイン 宮崎放送商事 花びら 康正産業 わかば小児歯科 慶明会病院 恵俊会 都城高校 聖心ウルスラ学園高校 ヒューマンネットワーク 昂 ユニオンスリー	グランドハイアット福岡 福岡シティクラブ 岩崎グループ ハウステンボス 山田屋 大分大同青果 庄司酒店 熊本リコー HIヒロセ 不二貿易 コスモス薬品 アブライド 大栄産業 地域科学研究所	オーロラシステム設計事務所 日本コンピュータソシエツ パワーステーション 富士通中部システムズ 日本ソファック 山陽新聞社 地域新聞社 日活 全日本空輸 ANAスカイバル大阪 名古屋鉄道 国分 リョーサン センコー 丸千千代田水産 ゴトー 九州屋 愛知トヨタ 賃貸住宅センター レオパレス21 有馬グランドホテル アークメディカルサポート 済生会今治病院 広島医療生協 虎の穴 佐世保コンタクトレンズセンター ブックバーン イービーエム JTB島根 JTB東日本 ダイナム
九 州 内	JA南さつま JAやつしろ 親和銀行 鹿児島銀行 第一生命鹿児島 東京海上日動火災鹿児島 フェスティパロ 正一電気 平成電電 ヤフーBB オーイーシー JALスカイ九州大分	山口県教員 伊予銀行 愛媛銀行 トマト銀行 四国労働金庫 蒲郡信用金庫 松風屋 竹田製菓 松前屋 スワニー 立花エレクトック コイデックス 田崎真珠 ミツイワ	
九 州 外			

第9回卒業生の就職結果（総括表）

	全 体		宮 崎 県 内	
就職希望者 (人)	149	男 32 女 117	66	男 18 女 48
就 職 者 (人)	143	男 32 女 111	61	男 18 女 43
就 職 率 (%)	96.0	男 100 女 94.9	92.4	男 100 女 89.6

極的に参加し、また、アルバイトなどで社会との関わりや社会人との交流を持つことも意義のあることです。

そして、その際に重要なことは、常に目的意識を持って取り組むということです。就職活動においては、「学生時代に何をしたか」「何ができるか」が問われます。目的意識を持って行動することで、学生生活がより充実し、就職や進学など自分の目標に近づくことになります。

みなさんには、学生という立場を存分に活かしながら、学生時代にしかできないことに真剣に取り組む、さらに大きく成長されることを期待します。

今後の進路等の相談については気軽に「就職相談室」に足を運んでください。

宮崎市現役合格者



赤江支所
三輪 明菜さん

窓口業務担当です。在学中、中別府ゼミで手話やボランティア活動に積極的に参加したことが、結果的に就職活動で自分をアピールする材料になりました。気合をいれて卒論に取り組むべし。



国保年金課
岩切 瞳さん

収納係です。浜野ゼミ所属でした。資格取得やアルバイトの接客経験・公務員学内講座受講が就職に役立ちました。人との関わりを大事にして精神的に豊かな学生生活を送ってください。

〔演習Ⅲ・Ⅳ公開〕ゼミのテーマは多彩、31の専門

モノ作りの楽しさが味わえる

田中薫ゼミ〔出版文化論演習〕

「PANゼミ」こと出版文化論ゼミは、田中薫先生のもと、ゼミ生10人で毎週活動しています。このゼミ最大の特徴は、自分たちで作品を作り、モノ作りの楽しさが味わえることです。去年は、雑誌、手作り本、和装本などを作り、凌雲祭の時にそれらの展示会を行いました。雑誌はゼミ生それぞれでテーマが異なるので、個性あふれる一冊となりました。作品が完成したときの達成感は何度味わっても飽きません。自分たちで作ったものだけに、愛着もわいて大切にしています。

他にも創刊号や装丁、紙の研究など、出版文化論ゼミならではの内容です。残念ながら、今年度限りのPANゼミとなりますが、皆一丸となって卒論、そして卒業に向かって頑張っています。6月には、コミュニケーション系ゼミと合同で「コミュニケーション学会」があります。興味のある人は、ぜひ見にきてください。



足で取材、調査するをモットーに

野中博史ゼミ〔ジャーナリズム論演習〕



「君の言うことにはいつさい同意できないが、君がそれを言う権利は死んでも守ってみせる」—これはフランスの自由・民権主義思想家・ボルテール（1694～1778）の言葉です。ジャーナリズム論ゼミでは表現の自由の意味と意義を学び、内容分析手法を用いた情報分析・推論能力の向上を図るための演習に取り組んでいます。

内容分析とはメディアの情報を一定のルールを用いて分析し、メディアや情報提供者のメッセージは何であるかを推論する研究手法です。第二次大戦中、米国が敵国の動向を予測するために確立したもので、ナチスのVロケット発射日を正確に予測したといわれています。

ゼミ員は4年生が3人、3年生が11人。新聞者、放送局、出版社などマスコミを目指す者も多く、時事問題の考察・討議や小論文作成にも取り組んでいます。勉強だけではなく、“足で取材・調査する”をモットーにテレビ局の見学や工場見学などにも取り組む予定です。

作業は静か、でも奥は深い

広瀬訓ゼミ〔国際法演習〕

広瀬ゼミ史上最多のゼミ生12名は、1年目、そして2年目を迎え、卒論という最大にして胸躍る集大成の作成へと突入しようとしています。

このゼミは国際法という耳にするが本当はよく知らない法律をひも解き、まずはその文面を知り、理解し、その上で今日国際的に問題になっている様々な事柄に照らし合わせ、議論をしていこうとしています。

当初はゼミ生全員が国際法について学ぶという事が初めてであったため、議論の段階で広瀬先生の話についていけない状態が長い間続いてしまいました。

しかし、今回卒論を作成するにあたり、これから大事



な時間をゼミで過ごしていこうという気概をゼミ生全員が持ち始めたように思います。

最後に、法律の文面と向き合う事はとても静かな作業ではありますが、この1年、最終的には“12作品”の素晴らしい卒業論文が完成する事を夢見ながら、広瀬ゼミは邁進していきたいと思っています。（大東豊典）

分野から自由に！

私たちのゼミ紹介します ⑱

中国の歴史や文化を学んでいます

田宮昌子ゼミ[中国文化論演習]

悠久の歴史。中華料理の多彩さ。高まる反日の動き。どれも中国です。中国文化と一口に言っても、長い歴史的経緯と多様な地域的差異を内包しており、そのフィールドはとても広いものです。

私たち中国文化論演習では、田宮先生のご指導のもと、時には楽しく時には真剣に、中国文化について学んでいます。全体と個人での学習を通し、異文化に対する柔軟な姿勢の獲得と自文化の相対化を目指しています。

三年次には、共通の文献を読み、中国の歴史や文化、社会のあり方について学び、各自のテーマを卒論に仕上げるための基礎的な知識や技術の習得に努めます。四年次には、各々の卒論テーマに沿った文献講読を進め、



卒論を作り上げていきます。このような毎週のゼミ活動に加え、春には卒論発表会と春節晩会、そして合宿、夏には蘇州大学短期研修生との交流、秋には学祭での発表と、一年を通して学ぶことの多いゼミです。

社会に対する見方が変わります

四方由美ゼミ[メディアとジェンダー演習]

このゼミでは、社会におけるマス・コミュニケーションおよびマス・メディアの影響や、メディアによって構成された現代社会を、ジェンダーをキーワードに研究します。3年次には、文献の精読、レジュメの作成、プレゼンテーションなどのスキルを身に付け、各自のテーマを探究します。4年次には、3年次に得た知識を基に卒業論文の作成に取り組みます。

また、ジェンダーという概念を学ぶことにより、近代における「知」のあり方を根底から覆す、物の見方や考え方を得ることができます。

このゼミで「知」の領域を学んでいくと、既に知っていると思っている事柄について、どうしてそうなのなのか、どういう意味でそう言えるのか確かめ直してみようになり、社会に対する見方が変わります。

(松浦美鈴)



コンピュータの活用で質の向上を

森部陽一郎ゼミ[インターネット演習]



森部ゼミでは、インターネットとビジネス、そして Quality Management を Key Word として、現代社会において、どのようにコンピュータを活用することが、さまざまな「質」の向上へとつながるのかを大きなテーマとして、各自の研究を進めています。

現在、4年生が3名、3年生が12名です。4年生は既に各自それぞれの卒業論文の作成に取り掛かっています。3年生は、前期中にインターネットの基本的な構造やネットワーク技術、サーバ構築などを勉強し、後期からそれぞれのテーマを決めて卒業論文に向かって研究活動を行います。研究活動以外にも、今年は、スポーツデイなどのイベントにも積極的に参加していきます。



[卒業式]

第9期生189名に卒業証書・学位記を

卒業式を終えて記念撮影をする第9期生たち。

平成17年3月24日、第9回卒業式が盛大に挙行され、9期生189名が公立大学を巣立ちました。

晴れ着を身に付けた卒業生で会場は大変華やかな様子でした。吹奏楽部の演奏が終わり、赤木市議会議長をはじめとするご来賓を迎え、式は厳かに進行されました。

はじめに、各教員がそれぞれ、担当するゼミで学んだ卒業生を紹介し、各ゼミの代表者が学長から卒業証書・学位記を授与されました。

次に、学長から「大学で得た得意なものを生かして、地域や日本、国際社会に向かって、元気よく大きく羽ばたいてください」との告辞が述べられました。

続いて管理者である津村宮崎市長から、「学生生活を

通して得られた財産を十二分に活用しながら、これからの人生を切り開いてください」との言葉が卒業生に送られました。

これに対して、卒業生を代表して酒井智美さんから、「宮崎公立大学で得た先生方からのアドバイス、そして共に学んだ仲間のことを思い出し、前にすすんでいきます」との決意が述べられました。

そして卒業記念品贈呈委員会の長谷山晃司さんから、記念品としてベンチ3台が贈呈されました。現在、研究講義棟前の庭に設置されています。

また式当日は大変風が強く、時折雨が降る曇り空。式終了後、講堂内で卒業生の記念撮影が行われました。



授与

かけがえのない4年間

卒業行事等実行副委員長 田畑亜希子

思い起こせば、4年前、期待と不安を胸に公立大へと足を踏み入れました。新しい土地、新しい生活に初めは戸惑うことも多かったですが、気さくな先生方、先輩方のおかげですぐに大学生活にも馴染めました。公立大学は先生方と学生の距離が近く、学問以外の相談にものってくれて、私にとって先生方は良き兄・姉のような存在でした。そんな先生方も講義や演習では厳しく、決して易しいものではありませんでしたが、新しい知識が増えていくことに喜びを感じ、学ぶことの楽しさを改めて実感しました。

また、大学生活では多くの人と出会い、多くのことを感じ、そういった経験を通じて多くのものを得ました。友人もそのなかのひとつであり、一番大切なものです。公立大学で出会った友人たちは、個性派揃いで私に沢山の刺激を与えてくれました。時には衝突することもありましたが、実によく笑い、よく食べ、よく飲みました。卒業し、皆、進んでゆく道は違いますが、今後も喜びや苦しみを共有し支えあっていける関係でいられることを強く願っています。

今大学生活を謳歌している皆さん。「今」という時間は二度と帰ってきません。「今」を大切に「今」出来ることを精一杯楽しんでください。



代表を見守るゼミ生たち。



学位記が学長から1人1人の手に。



答辞を読む酒井智美さん。



ゼミごとに卒業証書が。

韓国と蔚山大学校の思い出

助教授 有馬 晋作

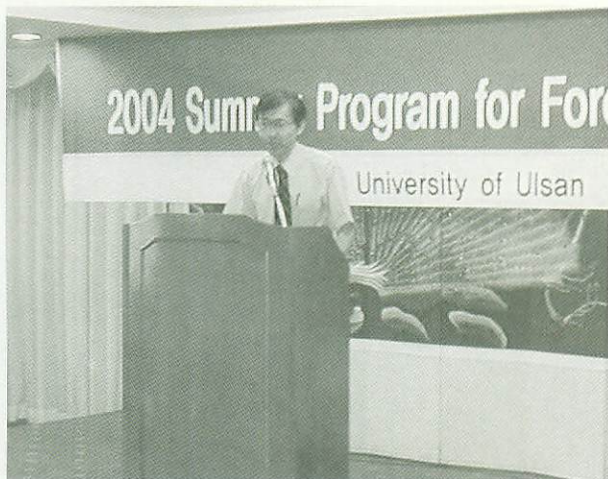
昨年8月の蔚山大学校への語学短期派遣研修の引率は、私にとって、すばらしい蔚山大学校と新しい韓国を知ることができた有意義な訪問でした。

蔚山市は、釜山から北へ高速バスで1時間、人口100万人を超える韓国一の産業都市です。蔚山大学校は、学生数1万3千人、11の単科大学、日本で言えば学部を有する韓国有数の名門私立大学です。この蔚山大学校側の公立大学との交換留学制度や日本語の短期研修への評価は、かなり高いものでした。宮崎という人情味あふれる風土や本学の小規模校としての良さを生かした本学独自の取り組みが評価されていました。

韓国での研修は、午前には語学研修、午後に韓国文化講座で約3週間でした。到着早々蔚山大学校生のパートナーが設定され、いっしょに街に出たりするなど大変工夫されたカリキュラムで、ウェルカムパーティでは、様々な国の人々と触れ合う良い機会も得ました。

それにしても、韓国の発展は目を見張るものがありました。蔚山市でも開かれた2002年のワールドカップ、そして最近の韓国ドラマの日本でのヒット、韓国は日本にとってますます魅力的で身近な国になりつつあります。それと、韓国は一時期経済の状況が相当厳しかったようですが、金融など幅広い面で構造改革が進み経済の活気は日本より良さそうでした。しかし就職は依然厳しく、学生も大学で一生懸命勉学に励まないと卒業も就職も難しいとの話を聞きました。このような話も、公立大学生の良い刺激になったと思います。

このように発展する韓国と、蔚山大学校というすばらしい大学との付き合いが長く続いていることは、公立大学にとって貴重な財産とつくづく感じた今回の韓国訪問でした。



蔚山大学校であいさつする有馬助教授。

蘇州の文化も学んでほしい

助教授 永松 敦



蘇州の名園を見学する(左が永松助教授)。

このたびの異文化実習の引率で中国の蘇州という町を初めて訪れました。世界遺産に登録されていることもあり、前々から行きたいという願望を抱いていたので、今回、蘇州訪問の機会を与えられたことは私にとって非常に有益でした。蘇州は庭園の美しさと運河を張り巡らせた街としてよく知られています。水面に映し出される町並みや街路樹がとても印象的で、看板や夜のライティングが観光客の目に馴染みやすく配慮されていました。日本でも世界遺産の登録は進み、その数を増しています。ここ蘇州でのユネスコ会議で、和歌山から奈良県にかけての熊野古道が新たに世界遺産に登録されたことは記憶にも新しいでしょう。

町並みを歩いていると、蘇州の人々がいかに町並み整備に熱心であったかが窺われます。特に、中国の照明は赤や緑などの鮮明な色を数多く好んで用いるのに対して、大通りに関してはオレンジ色のライトに統一されている点が注目されました。確かに、外国人にとってこのライティングは気分的にも落ち着くし、ヨーロッパの町並みの雰囲気も漂います。ただ、私が気になったのは、果たして蘇州の人たちがこの単色ライトを好むのだろうか、ということでした。

観光地というのは、外来者の趣向に合わせようと努力することが求められます。それが外来者だけの施設なら何ら問題はないのですが、町並みという住民生活の場が自らの意思とはそぐわないかたちで実施される危険性がありはしないか、という疑問が起きました。照明に関して特に住民の意見を直接尋ねることはしなかったので、これ以上何も言えませんが、いずれ調査をしたいという欲求に駆られました。

運河の街として生きる本県日南市の町並み保存を考える上でも、蘇州の町並み整備は大きな参考となります。昨年度から「短期語学研修」は「異文化実習」に名を変えました。学生諸氏には語学と共に、蘇州の文化も是非学んでもらいたいです。

幸せな気持ちになれる国

ワイカト大学留学 谷口 正春

僕は、2004年2月から1年間、ニュージーランド北島に位置するハミルトン市内のワイカト大学に交換留学をしてきました。大学では、応用言語学や教育学など公立大学での自分の専門分野を学びました。1つの科目が週に1コマあるのではなく、3～4コマあり、講義の他にチュートリアルという少人数の学生と教授による討論会がありました。講義中に突然、学生が質問することもしばしば、そこから討論が盛り上がるのが新鮮で楽しみでした。学内には、課題を提出前にチェックしてくれる個人指導員がおり、何度も駆け込んでいたことを懐かしく思います。

滞在期間は寮や、一軒屋をシェアして住むことを通して、地元の学生だけでなく留学生の友人を作り、旅行やパーティーなど、思いきり遊びました。以前、米国留学を経験した事によって、今回の留学は多くのギャップを感じ戸惑いましたが、時と共にやがてニュージーランドアクセントになり、フィッシュ&チップスを主食にする頃には、異なる文化をそのまま受け入れる準備ができていたように思います。そして、自分たちの時間を大切にするキウイ達のココロは、彼らの雄大な自然に比例するように大きいのだと感動しました。日本に比べモノは本当に少ないですが、何か幸せな気持ちになれる、そんな国でした。

最後に、公立大学の先生方、お世話になった関係者の方々、支えてくれた友人や家族、この一年間、本当にありがとうございました。



登山をする谷口正春さん。

皆、心から親切に

蔚山大学校留学 木切倉 徳子

最近、韓流ブームといわれ、韓国に関心を抱く人が急増して文化交流も盛んになってきました。しかし、歴史的な問題から深い溝が残っているのも事実です。

私は、1年間の留学生活が終わる帰国の日が近づいてきたある日、数人の友人たちから、こう言われました。

「今だから言うけど、本当は日本という国、そして日本人が大嫌いだった。でも実際にこうして日本人と接していくうちに日本人に抱いていた先入観を捨てることができたし、『近くて遠い国』から『親密な隣の国』と思うようになった。そのきっかけをくれてありがとう。」

私たちの世代にも反日感情を抱いている人がいるという事実を知った瞬間でした。韓国に行く前から反日感情が強いということは知っていたものの、実際に行ってみると出会った韓国人は皆、心から親切にしてくれて日本人だからといって差別されたことはほとんどなかったからです。

しかし、態度では表さなかったもののそのような人たちが日本を好意的に思ってくれるようになった事は、ありがたいと言われて少しでも日韓関係に役立てたような気がして嬉しく思いました。

海外に出て初めて自分の国を意識するようになり、国際交流でお互いを理解しあうことの大切さを深く感じました。

日本の人々にも“近い！安い！美味しい！カッコいい！”だけの韓国ではなく、もっと中身のある韓国を知ってもらえるようにお手伝いしていきたいと思います。

この一年間、笑って泣いて学んで遊んで過ごした蔚山での日々がとても懐かしく思われます。たくさんの人との出会い・韓国語の授業・寮生活・中学校訪問・江原道へ往復14時間の汽車の一人旅...全てが貴重な体験でした。

●平成17年度交換留学生

●ワイカト大学へ



松崎 砂織
(まつざき さおり)

●ワイカト大学より



Seon Yong Oh
(シヨン ヨン オウ)

●蔚山大学校へ



木村 紗也香
(きむら さやか)



林 真彦
(はやし まさひこ)

事務局だより

○教員人事

平成17年4月1日からの学内体制は次のとおりです。

学 長 浜野 崇好
学部長 中別府温和
附属図書館長 長友 武
学生部長 野中 博史

●新任

平成17年4月1日付けで川又祥平助教が着任されました。

氏名	担当科目
川 又 祥 平	広告論



川又祥平助教

●退職

平成17年3月31日付けで玉木徹志教授、嶋昭吉教授、村上忠良講師が退職されました。



玉木徹志教授



嶋昭吉教授



村上忠良講師

○職員人事

平成17年4月1日付けで、富永喜美夫事務局長、玉木徹志前教授が地域研究センター長に就任しました。

また、山根事務局長、総務課の柳瀬課長、岩瀬主任主事、横山主任主事、池島主事が転出しました。学生課では、宮本課長、松石主任主事が転出しました。後任ならびに配置は下記のとおりです。

(敬称略)

事務局長 富永喜美夫
地域研究センター長 玉木 徹志
総務課課長 黒木 雄三
総務課主任主事 安留 清一
総務課主任主事 安藤 邦恵
総務課主任主事 内山田恭子
学生課課長 小塚 聖
学生課主事 秦 良和

○平成17年度(上半期)主な行事予定

4月4日 入学式
8日 前期授業開始
5月13日 スポーツ・デイ
6月1日 開学記念日
7月21日 前期定期試験開始
7月29日 夏季休業開始
キャンパスガイド



○学生表彰

3月24日、宮崎公立大学学生表彰要綱にもとづき、英語検定試験の規定を満たした那須智子さん、二本彩乃さん、社会活動で貢献のあった佐藤直樹さん、成績優秀者として兼武雄一さん、佐藤智美さん、酒井智美さんが学長から表彰されました。また4月7日に福田佳菜さん、田嶋勇貴さん、松浦聡美さんも成績優秀者として表彰されました。

本学教員の著書紹介(平成16年4月～平成17年3月寄贈分、寄贈日順、敬称略)

著 書 名	書 名	出 版 社 (出版年)
王 智新	現代中国叢書Ⅰ:現代中国の教育	明石書店 2004
中別府 温和	マヤ・カトリック社会の時間・空間感覚と社会構造の分析	2003
野中 博史	デス・コントロール:生命操作社会からの警告	三一書房 1994
奥野 正男	神々の汚れた手	梓書院 2004
永松 敦ほか	高原町文化財調査報告書	高原町教育委員会 2000
永松 敦ほか	第7集:高原町蔵川・狭野の神舞(神事)-本文編-	
永松 敦ほか	高原町文化財調査報告書	高原町教育委員会 2000
金子 正光	第7集:高原町蔵川・狭野の神舞(神事)-図版編-	
田中 薫	表計算ソフト演習	開成出版 2004
永松 敦ほか	九州・宮崎と出版:その現状と歩みをさぐる	書肆緑人館 2004
永松 敦ほか	いくつもの日本VI:さまざまな生業	岩波書店 2002
永松 敦ほか	季刊東北学:第1号2004年秋	柏書房 2004
永松 敦ほか	現代民俗学入門	吉川弘文館 1996
広瀬 訓ほか	現代民俗学入門	国際書院 2005
永松 敦	新国際機構論	1990
永松 敦	宮崎県東臼杵郡椎葉村の正月行事	名古屋民俗研究会 2002
大賀 郁夫ほか	宮崎県地域史研究:15	宮崎県地域史研究会 2003
大賀 郁夫ほか	宮崎県地域史研究:16	宮崎県地域史研究会 2004
大賀 郁夫ほか	宮崎県地域史研究:17	宮崎県地域史研究会 2005
中別府 温和ほか	現代宗教事典	弘文堂 1993
永松 敦	狩猟民俗と修験道	白水社 2005
村上 忠良ほか	東アジア家族・地域・エスニシティ:基層と動態	東信堂 2005
田中 宏明ほか	グローバル化社会における世界政治の現在	テイハン 2005
永松 敦	狩猟民俗研究-近世獵師の実像と伝承	法蔵館 2005

図書館から

閲覧室に芥川賞・直木賞受賞作品コーナーを設けました。

一部は品切等で入手できなかったものもありますが、綿矢りさの「蹴りたい背中」やモブ・ノリオの「介護入門」、奥田英朗の「空中ブランコ」と最新の受賞作まで揃えています。図書館ホームページに各賞の受賞作品一覧を掲載していますので、ぜひ併せて活用してください。

また、読みたい資料が図書館にない場合は、図書館ホームページからリクエストできます。リクエストを受けてから納品まで通常1ヶ月程度かかりますので、卒業論文等で必要な場合は早めに申請してください。なおリクエストの受付は、年度内に1人10冊まで、または合計1万円までとさせていただきます。不明な点は受付カウンターでお尋ねください。

<http://www.miyazaki-mu.ac.jp/mmu/library/>



保健室から

「一気!」の掛け声でお酒を飲む場



面を見た事がありませんか？

沢山のお酒を飲めば、肝臓での代謝がおいつかず、血中に有害物質アセトアルデヒドが溜まり、血中アルコール濃度が上昇し、あらゆる症状が現れます。二日酔いも、このアセトアルデヒドが大きな原因のひとつです。

「酔いの程度」＝「血中のアルコール濃度」で、血中アルコール濃度は、次の算式で計算することができます。最高血中アルコール濃度(%)＝アルコール摂取量÷体重の2/3×100(アルコール摂取量＝飲用量×アルコール度数/100×0.8) 20歳を過ぎたみなさんは、自分がどれくらいの飲酒(血中アルコール濃度)でどの程度酔いがまわるのか知っておくと良いでしょう。

保健室では、お酒に強いかわるかを調べるアルコールパッチテストを随時行なっています。

飲酒が禁じられている未成年者でも簡単に確かめることができる検査です。どうぞお気軽に保健室へ検査に来てください。

学生相談室から

笑いの効用

笑顔で頑張ることを私は「顔晴る」と書いています。

人間はなぜ笑うのでしょうかね？

他の動物にはない人間の神秘のひとつです。日本でも笑いの研究が進んできました。「笑顔」は人々との心の交流を生み出すだけでなく、心身に良い影響をもたらすことが医学的にも明らかになってきています。

私たちが笑うと、身体の中でどのようなことが起こるのでしょうか？

まず笑うことで脳が刺激され、それが神経へ伝わって、神経ペプチドという免疫機能活性化ホルモンが分泌されます。そのために身体の免疫力がアップし、多少のことではへこたれない身体になります。

私たちが勉強したり、仕事をしたりする時は笑顔で頑張りましょう。

学生相談室は皆さんが笑顔で頑張られるように援助する所です。

気軽に来室ください。「顔晴る!!!」

学生相談室カウンセラー

大迫 典久

平成17年度宮崎学術振興財団助成金申請一覧

1 学術研究促進事業

No.	氏 名	職 名	研 究 課 題
1	マリリン ブックス	教 授	説得力のある話し手とその聞き手
2	野中 博史	教 授	N I E教育実践にあたっての調査研究 小中高等学校及び大学教育における新聞記事の活用と問題点について現状解析及び適切な活用のあり方を提言する
3	中山 本文	教 授	Women in Loveの意図
4	田縁 正治	教 授	3 D C Gにより建築物をバーチャルに表現するソフトウェアの作成
5	山口 裕司	教 授	エコ・フェミニズムに関する政治学的研究(4)
6	宮元 章次	教 授	Brożekらの算出式は思春期の女子アスリートの身体組織の変化を評価できるのか
7	戸高 裕一	教 授	宮崎方言の世代差・性差研究
8	有馬 晋作	助教授	介護保険の運営を含め制度上の問題点を地方分権の視点から調査・分析し地域の実情にあった介護保険運営のあり方を提言する
9	大賀 郁夫	助教授	歴史系博物館の資料蒐集と展示に関する比較研究
10	新井 克弥	助教授	メディア化に伴う若者の情報行動と自我の変容(継続)
11	福田 稔	助教授	宮崎方言の認知意味論的研究
12	川瀬 隆千	助教授	キャリア教育プログラム評価システムの構築
13	田宮 昌子	助教授	悲憤慷慨の系譜 —中国文化史上における屈原像の史的変遷(2)
14	広瀬 訓	助教授	大学レベルにおける効果的な国際機構論教授法のあり方について —その基礎理論と現状との整合性、現実性を求めて—
15	李 善愛	助教授	宮崎地域の海と河沿いにおける民俗と信仰に関する比較民族的研究:韓国との比較をとおして(3)
16	久保 和華	助教授	2004年年金法改正後の年金基本課題に関するモデル分析
17	倉 真一	助教授	宮崎における地域アイデンティティの形成と展開に関する社会学的研究
18	森部陽一郎	講 師	わが国のWEBサイトにおけるアクセシビリティに関する研究
19	下 絵津子	講 師	言語教育における協力活動の効果 1)英語教育の授業における協力活動についての学生の認識とその効果(継続) 2)ポートフォリオ利用の考察—協力的活動の視点から

2 地域間交流事業

No.	氏 名	職 名	研 究 課 題
1	金子 正光	教 授	宮崎東諸県郡広域市町村圏域におけるユニバーサル・アクセス支援の構築事業に関する調査研究
2	辻 利則	助教授	宮崎広域市町村圏域におけるサービスマーケティングモデル構築
3	永松 敦	助教授	文化財の基礎的調査と文化表現に関する研究 —宮崎市内の観光資源発掘と利用を目的として—



入学式の朝の宮崎公立大学。



式辞を述べる浜野学長。



誓いの言葉を述べる有島仁さん。



早くも部活の勧誘が。

桜舞う晴れの日、第13期生219名が入学

浜野学長が、「教員との距離が近いことが少人数教育の利点であるので、教員資源を活用してください」と式辞を述べ、津村管理者が、「地域の活動に積極的に参加し、多方向から物事を考えられるように、英知を養ってください」と挨拶しました。新入生代表の有島仁さんが、諸先輩方の指示を仰ぎながら、「感性豊かな教養人」をめざして努力していくことを誓いました。



テレビの取材をうける。

宮崎公立大学
MMUニュース・レター
第22号・夏

平成17年6月
発行 宮崎公立大学
編集発行人 長友 武
〒880-8520 宮崎市船塚1-1-2

TEL 0985-20-2000
URL <http://www.miyazaki-mu.ac.jp>